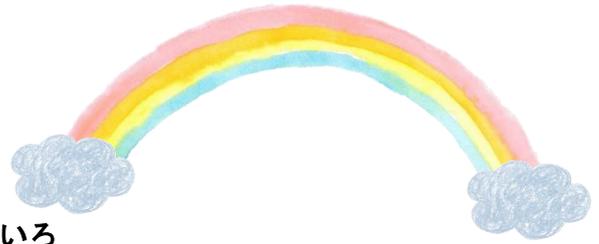


にじいろ通信



令和3年6月30日 第4号 札幌市立認定こども園にじいろ

にじいろホームページは で検索してください。

札幌にも夏到来！です。北海道、とりわけ札幌は、四季がはっきりと感じられる恵まれた地域と言われています。しかしながら昨年からは外出自粛が求められ、移り行く季節を感じることに對して少し鈍くなってしまったような気がしませんか？子どもにとって季節を感じることは、感性を育てるという意味があります。花や空をみて美しいと感じたり、吹雪や嵐で自然の厳しさを実感したりする中から様々な感覚が磨かれます。そのためにも大人が季節感を大切にしたい生活ができればいいですね。

子育て支援係では、子育て家庭の方々が知りたい情報を提供することができます。子どもと一緒に出かけられるお出かけスポットや市内の公園、子育てサロン情報などを把握しています。また子ども・子育て支援新制度（子育てのサービス）や子育て相談、相談の専門機関についてなど、子育て中のいろいろな悩みごとや困りごとなどについて、必要な情報提供や窓口、支援機関の紹介を行っています。

子育てに関する事で「どこに聞いたらいいのかなー？」と思ったときには、認定こども園にじいろ子育て支援係までお気軽に声をかけてください。清田区役所2階こそだてインフォメーションでもお受けします。

また、冊子「さっぽろ子育てガイド2021」が6月30日に発行され、札幌市の子育てに関する情報が掲載されています。

子育て支援係長 太田 朋子



7月行事予定

1日(木)	らっこ、きりん個人懇談	13日(火)	らいおん個人懇談 耳鼻科健診(3~5歳)
2日(金)	にじいろのご配布(2~5歳) きりん個人懇談	14日(水)	らいおん個人懇談 誕生会
5日(月)	きりん個人懇談	15日(木)	にじいろのご回収日
6日(火)	こあら個人懇談	19日(月)	避難訓練
7日(水)	こあら個人懇談	20日(火)	にじいろで遊ぼう 幼稚園見学会
12日(月)	らいおん個人懇談	21日(水)	終わりの式
		25日(日)	サンデーサロン

☆運動会の日程が変更になりました。

旧) 9/11 ⇒新) 9/18
予備日は9/25です。

☆コロナウィルス感染状況に応じて行事予定が変更になる場合があります。

8月行事予定

4日(水) 園開放日	24日(火) 誕生会
6日(金) セタ	25日(水) 園医健診(全児)
18日(水) 始まりの式	26日(木) にじいろで遊ぼう 幼稚園見学会
21日(土) 避難訓練	
22日(日) サンデーサロン	

個人懇談について

個人懇談は、保護者の皆様と保育者が、お子さんのよさを確認し、お子さんがよりよい方向へ成長していくことができるよう情報交換を行う場です。気になることなどがありましたら、お気軽に担任へお話しください。

教育相談を利用しよう！

にじいろには、幼児教育支援員がいるのをご存じですか？友達関係で困っている、言葉や発音が気になるなど、子育ての悩みの相談や、園生活や就学に向けての情報をお伝えすることができます。にじいろでの実際の様子を知っている支援員がお子さんへの関わり方を一緒に考えます。お気軽に職員までお声掛けください。

にじいろの研究

「やってみようが続く環境構成と援助」をテーマに取り組んでいます。今年度は遊びの継続、発展の2つを重視し、深い学びにつながる遊びを目指しています。

今号では、戸外遊びでの取り組みについて、紹介します。

コドモンの配信を増やします

今年度からコドモンを利用した情報配信の回数を増やしています。

【園に返事をする必要があるおたよりや掲示】

【写真販売のお知らせ】【にじいろ通信】

【にじいろの運営に関わる情報】【緊急時の連絡】

以上の内容を配信し、保護者の皆さんにより手軽に情報を受け取っていただけるよう考えています。ご不明点のある方はお尋ねください。

季節の自然物を使った遊び

～興味を広げる関わり・残しておける環境～



見つけた草花を使って、ジュース作りをしています。

花を見て、色を想像したり、もっと鮮やかな色にしようと試行錯誤したりする姿につながります。

きれいな色のお花があった！



園庭に遊びを残すことができる場を作りました。続きができることが約束されていることで、じっくり遊びに取り組むことができます。



マルチパネル（大型ブロック）

～自分たちで作ることができる遊びの場所～



ここは僕たちの“秘密基地”

大きなブロックのため、友達と一緒に運んだり、組み立てたりして、協力して作ります。

どんな形にするか、必要な物は何かなど、友達と相談します。友達に自分の思いを表したり、友達の思いを聞いたりする経験を重ねることで、友達との関わり方を学んでいます。



「どうやって作る？」
「その方法いいね」

～ご家庭でも～

同じ玩具を使った遊びの中でも、子どもたちは遊びを変化させています。「できたね」「上手」という言葉にプラスして「こんなところが素敵だね」「（この工夫が）おもしろいね」など、工夫や考えを受け止めてあげる言葉掛けが“私ってすごいんだ！”という自己肯定感につながります。そして“こんなこともできるかな”と挑戦する気持ちや、“もっとこうしてみよう！”の子どもたちの更なる意欲につながります。子どもたちの“やってみたい”気持ちを一緒に支えていきましょう！

6月のご意見、ご要望はありませんでした。何かございましたら、いつでもお声掛けください。